

むこうはら

向原連合自治会
向原地区福祉協議会

発行責任者 植松 進
編集責任者 植木 俊寿

秋の美化清掃風景



令和7年10月5日(日)

今年度は例年と異なり作業方法が変更となりましたが、皆様のご協力のもと無事清掃活動ができました。今後も環境美化清掃にご協力をお願いします。



天社神社例大祭

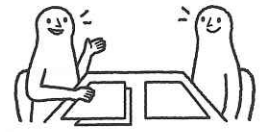
令和7年10月19日(日)

前年度と^{とぎよ}渡御順の交代により、午前の本村地区は神輿を車に乗せての^{とぎよ}渡御となりましたが、午後^{とぎよ}の尺里地区は担ぎ手による神輿を担いでの^{おたびしよ}渡御が行われました。御旅所には大勢の人が訪れ、厳かに神事が執り行われました。



座談会「町長と語ろうまちづくり」 令和7年10月25日(土)

今年度も若い方が参加しやすいように土曜日の夜間に開催されました。地域テーマは「空き家対策について」で、空き家の管理や定住対策等意見交換が行われました。今後も行政との対話の機会が継続的に行われ、日々の暮らしに活かされていければと思います。参加者は自治会30名、町12名の計42名でした。



歩け歩け散策

令和7年11月9日(日)



今年度は、協助部となり山歩きに自信のない方々のために車のサポートを用意し、NEXCO 中日本様のご協力により安心できる「歩け歩け散策」を計画しましたが、当日は天候不良のため中止となりました。代替として向原児童館で散策予定であった新東名高速道路の工事区間の進捗状況のビデオ上映や説明を受けました。参加者は62名でした。

参加賞を受け取り解散しました。

(協助部)

森林部共有林の整備作業 中止 令和7年11月30日(日)

今年度も、例年通り向原連合自治会の浜井場共有林の整備作業を予定しておりましたが、山北町を含め浜井場共有林に隣接する松田町でも熊の目撃情報があり、安全を考慮し今年度は見送ることになりました。来年は実施できることを願います。

1月18日(日)には、連合自治会役員と各自治会長参加のもと、高松山ハイキングコースのビリ堂付近にある向原連合自治会管理の丸塚共有林を巡視し、倒木等によるハイキングコースへの影響等問題ないことを確認しました。

冬季交流イベント (クリスマスプレゼント)



令和7年12月20日(土)



今年も冬季交流イベントとして、青少年健全育成会の協力でクリスマス会を開催しました。クリスマスプレゼントを渡す会として、参加者は62名でした。園児ら未就学児および小・中学生にプレゼントを渡すことが出来ました。当日、大勢の子どもたちはプレゼントを受け取りとても嬉しそうな顔をしていました。



表彰おめでとございます



令和8年1月5日(月)

山北町の賀詞交換会の席上で一般表彰がありました。

「自治振興」で元連合自治会長の瀬戸雅弘さん(尺里東)、前連合自治会長の石田利雄さん(下本村)、「厚生」で前民生・児童委員の瀬戸タキ子さん(尺里中)、「防犯」で前防犯指導隊の加藤忠佳さん(前耕地)が表彰されました。自治会員の皆様は、自治会のために貢献された方々のため感謝の気持ちをお願いいたします。

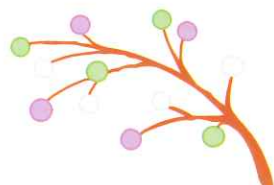
どんど焼き(道祖神祭)

令和8年1月10日(土)・11日(日)

どんど焼きが向原地区の各所で実施されました。古来道祖神を祀る神事であり、村の境界や道の分岐点に祀られ、悪霊や疫病の侵入を防ぎ、旅の安全や子孫繁栄、豊穰などを願う民間信仰の神様が道祖神です。各地区には道祖神が多く存在しています。本来1月14日に正月に飾った門松やしめ縄、書き初めなどをやぐらを組んで燃やすお焚き上げ神事で、歳神様を煙と共に送り出し、五穀豊穰・家内安全・無病息災を祈りました。地域の多くの方々が参加し、交流を深める良い機会になりました。当日は強風のため残念ながら中止した自治会もありましたが、消火対策を整えて無事に終了しました。



(強風のため中止)



向原地区の氏神さま「天社神社」変遷について

天社神社の前身は、高松山大六天峠に祀られていた第六天社とされています。

第六天社の創建は不詳ですが、天社神社に収められている棟札むなふだで読み解くと永禄4年(1561年)11月に創建(「山北町史」及び「足柄乃文化」)されたとなっています。なお、この棟札は山北町内で現存する最古の棟札とされています。

※参考までに、この年は上杉謙信が小田原攻めを行った年とされています。

『皇国地誌』川村岸・川村山北・川村向原「村誌」という本があります。明治18年6月に川村で作成・提出された本ですが、この中に、慶長20年(1615年)『「天神社」村社 字上本村1769番地にあり 祭神おもだるのみことは面足命を祀る 旧は第六天社と称すなり』という記述があることから、1600年代頃には既に現神社が直前まで鎮座していた東名高速道路の下に、高松山から移設され、あったと推測されます。

この史実から考察すると、移設されてからしばらくの間は、「天神社」と呼ばれていたと思われます。月日は流れ、明治の時代になり、神仏分離の流れのなかで、明治2年(1869年)2月社名を「天社神社」と変更し、現在に至っています。

尚、この時、向原の諸社を合祀し、各社の40枚近くの棟札が「天社神社」に預けられました。

合祀された社はやしろ大六天社・だいろくてんしゃ山神社・やまがみしゃ戌神社・いがみしゃ諏訪神社・すわじんじゃ大神宮・だいじんぐう鎮童社・ちんどうしゃ牛頭天王社・ぎゅうどうてんのうしゃ金比羅社・こんびらしゃ天満宮・てんまんぐう鷲鷹神社・わしたかじんじゃ山王社・さんのうしゃ愛宕社あたごしゃがあります。

従って、祀られている祭神も面足命おもだるのみことの他に、さるとひのみこと猿田彦命・おおひるめむちのみこと大日雲貴命・やまとたけるのみこと日本武尊・たてみなかたのみこと建御名方命と計5人の神様が祀られています。

最後に、神事です。1月に初詣・歳旦祭、2月には紀元祭、7月風祭、10月例大祭、11月新嘗祭・七五三、12月には大祓い等の年間神事を行っています。東名下に鎮座していた時代には7月28日に夏祭りがあり、芝居も上演されていましたが現在では10月の第3日曜日の例大祭のみとなりました。

皆さんの氏神さまです。例大祭・初詣だけでなく、いつでもご参拝して頂きたくお願い申し上げます。
(足柄乃文化誌より)



編集後記

分かりやすく親しみのある紙面作りに心掛け、住民の方々の地域活動やイベントに携わる思いを紙面に載せることを目標に編集してきました。

今号では、毎年の行事に加え、向原地区の天社神社の変遷を取材しました。今後も自治会の様々な活動や情報を共有し地域の発展に寄与していければと思います。

ご協力いただいた皆さまに心より感謝いたします。